

複式学級解消のための説明会

令和3年1月9日(土)午前9時～ 太田中体育館



1 複式学級とは

小学校の場合、2つ以上の学年を合わせても16人以下（1年生を含む場合は、8人以下）となる場合に編制した学級をいいます。

通常は、異なる学年の児童が1つの教室で1人の先生から同時に授業を受けるため、一方の学年が指導を受けている間、もう一方の学年は自習課題等をするようになります。本市では市費で非常勤講師を配置し、1つの学年に対して1人の教員が授業を行うようにしていますが、担任が2つの学年全ての授業を行うことができないので、「児童の学習理解度が分かりづらい」「授業中の様子を把握できない」といった不都合も出ています。

太田東小	1年生	2年	3年	4年	5年	6年
R 5 の例	7	5	8	9	11	8

Diagram showing the combination of classes into groups of 12, 13, 20, and 19 students.

12

13

20

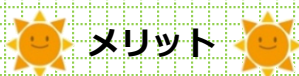
19

③16人以下でないため、複式学級は編制しない。

②16人以下のため、2・3年生の複式学級を編制する。

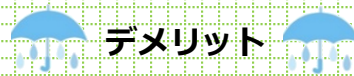
①1年生を含む8人以下でないため、1・2年生の複式学級は編制しない。

2 過小規模(複式学級)のメリットとデメリット



メリット

- ☆一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
- ☆学校行事では、一人一人の個別の活動機会が多い。
- ☆相互の人間関係が深まりやすい。
- ☆異学年間の縦の交流が生まれやすい。
- ☆保護者間の連携が図られやすい。



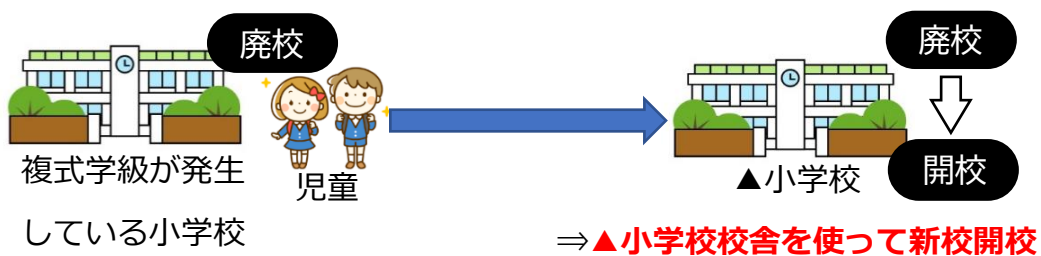
デメリット

- ◆一人一人の児童に大人の目が行き届き過ぎることにより、子どもが甘えやすくなったり、疲れてしまったりする。
- ◆運動会や音楽会などの集団的な学校行事で、種目等の制約が生じる。
- ◆人間関係や相互の評価等が固定化される。
- ◆高学年の複式学級では、下の学年が少し窮屈感を感じている一方で、年上の学年への甘えも生じやすい。
- ◆PTA活動における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

3 複式学級解消のパターン

統合

対象校が全て廃校になり、▲小学校の校舎を使って、新しい学校を開校する。複式学級が発生している小学校の児童は、原則全員が新校に通学する。

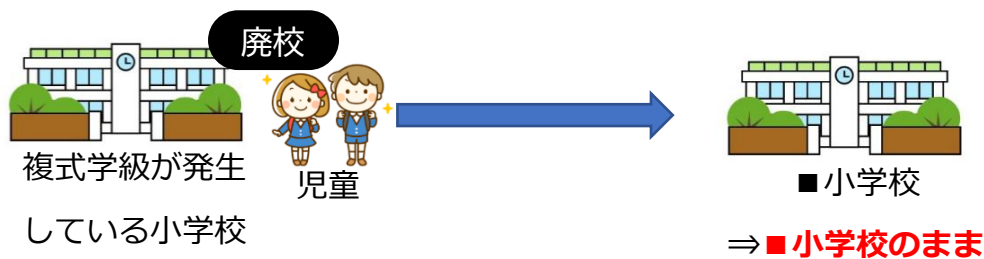


[校名・校歌・ジャージ] 新たに決定

[スクールバス] 原則2km以上が乗車対象

編入

複式学級が発生している小学校が廃校になり、児童は市内の他の■小学校に通う（編入先の小学校に転校するイメージ）。複式学級が発生している小学校の児童は、原則全員が■小学校に通学する。



[校名・校歌・ジャージ] 編入先の学校のものを使用

[スクールバス] 原則2km以上が乗車対象

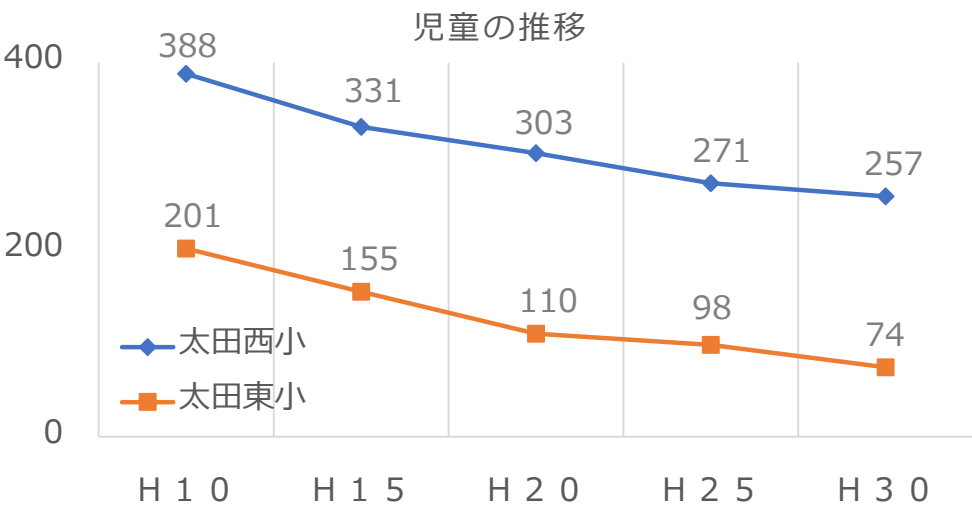
自由選択

『統合』又は『編入』先の小学校を希望しない場合は、市内の他の小学校を自由を選択することができる。自由選択を希望した場合の通学は保護者の送迎となる。

[スクールバス] 自由選択をした学校への運行なし

4 太田西小学校、太田東小学校の児童の推移

本市における児童生徒数は、昭和60年度の12,724人をピークに、その後の急激な少子化や社会減の影響により、平成30年度は5,828人となっています。太田西小と太田東小の児童数について過去20年間を見ると、太田西小では388人から257人(34%減)、太田東小は201人から74人(63%減)となっています。



5 太田西小学校・太田東小学校の児童数の将来推計

太田西小学校は現在 2 クラスの学年もありますが、いずれ全学年 1 クラスになることも予想されます。太田東小学校は現在全学年 1 クラスであり、令和 5 年度以降、複式学級が見込まれます。

太田西小の児童数

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1 年生	41	37	30	25	30	27
2 年生	31	41	37	30	25	30
3 年生	42	31	41	37	30	25
4 年生	38	42	31	41	37	30
5 年生	35	38	42	31	41	37
6 年生	47	35	38	42	31	41
合計	234	224	219	206	194	190

太田東小の児童数

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1 年生	9	8	5	7	3	5
2 年生	11	9	8	5	7	3
3 年生	8	11	9	8	5	7
4 年生	10	8	11	9	8	5
5 年生	13	10	8	11	9	8
6 年生	17	13	10	8	11	9
合計	68	59	51	48	43	37

※  は複式学級

太田西小+太田東小

年度	R 5	R 6	R 7
1 年生	32	33	32
2 年生	35	32	33
3 年生	45	35	32
4 年生	50	45	35
5 年生	42	50	45
6 年生	50	42	50
合計	254	237	227

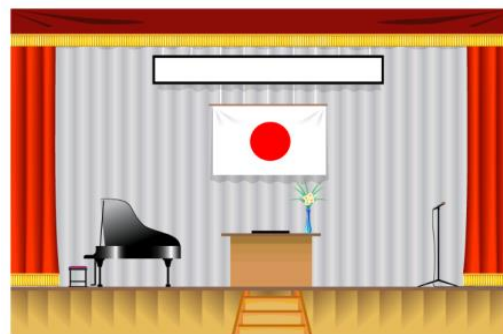


- ・ 複式学級の解消
- ・ 2 クラス編制が可能
(R5の 3 年生、5 年生)

6 統合の進め方

◆校名、校章、校旗、校歌

統合の対象となる現在の学校は、全て閉校となります。
新たな学校として設置することから、校名、校章、
校旗、校歌については新たに作成することを含めて、
協議します。



◆開校・閉校事業等

統合の該当校では閉校式を、新たな学校では開校式を実施します。また、閉校となる学校の軌跡・歴史の継承に努めます。

◆統合までの学習環境の確保

新たな人間関係の構築が円滑に行えるように、該当学校間の合同学習や交流事業を実施します。その際、児童の移動手段を確保します。



バス移動の様子

◆通学に関すること

通学区域が拡大されることから、児童生徒の登下校時の安全安心を確保します。
小学生は徒歩での通学とし、通学距離が概ね2.5kmを超える区域には、スクールバスを導入します。スクールバスの運行は、停留所方式とします。

◆児童生徒の心の配慮

児童生徒の不安、悩みを解消するため、再編成前後に相談員を配置します。

◆体操着等に関すること

デザイン等について新たに決定します。なお、保護者に経済的な負担が生じないように、在校生は既存のものも使用できます。

